

第2次新宮市総合計画「基本計画（案）」に対するパブリックコメントの実施結果

○ 意見の募集期間：平成30年1月5日（金）～平成30年1月19日（金）

○ 意見者数（件数）：2人（3件）

○ 提出方法：電子メール

○ 意見及び市の考え方 ※意見は要約しています。

No.	提出された意見	市の考え方
1	<p>かつては4万人を超えたことのある新宮市の人口が、一昨年には3万人を割りました。普段の生活では、著しい人口減少を実感することはあまりなく、むしろ3万人くらいの人口がこのまちの規模に合っているのではないかとも思っています。ただ、今後更に人口が減少し続ける傾向と高齢化が進むことは、市としての成り立ちが崩れるのではないかと危惧しております。</p> <p>私自身も地元の高校を卒業し、大学進学後、Uターンで地元に戻ってきました。恐らく、新宮出身の方は、新宮の住み易さを知っているので地元志向が強いと思います。行政としては、移住定住の観点とUターンの両面から政策を考える必要があると思いますが、私自身の考えでは、移住を推進しても毎年50人、100人と人口が増えると思いません。そこで、市としては思い切って、地元の出身者にターゲットを絞り、Uターンに力を入れ少しでも多くの地元出身の方に地元へ戻ってきていただく取り組みに力を入れてはどうでしょうか。</p>	<p>本市の人口減少が進む中、基本計画に先立ち決定しました「基本構想」において、10年後の将来人口は、25,600人を上回るものとしています。</p> <p>この将来人口を達成するためには、次世代を担う多くの若者が夢と希望をもち、このまちに住み続けたいと思えるまちづくりを推進していくことが重要と考えております。</p> <p>本市の特徴としては、若者が進学等で転出し、その後、地元へ戻らず都市圏等で就職という傾向が見られますので、「就労の場」づくりと同時に「地域の魅力（憧れ）」づくりを行い、若者の定住、Uターン等を促進していきたいと考えており、「移住・定住の推進」の中にその考えを含んでおります。</p>

No.	提出された意見	市の考え方
2	<p>人口対策に取り組み効果が出ればいいのですが、一方では、人口が今後、25,000人、更には、20,000人となった時の厳しい想定で（税収等の減少により財政規模が小さくなる上に、高齢化等により社会保障費が増えるなどの社会現象）、市政の進め方を今から考えていく必要があると思います。</p>	<p>国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計では、本市の人口は今後も減少を続け、平成52年（2040年）には20,000人を下回る19,635人にまで減少すると推測されています。</p> <p>人口減少・少子高齢化は全国的な課題であり、本市においては平成27年度に策定した「新宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少を少しでも抑制するための取り組みを進めております。</p> <p>そうした中、平成29年3月には将来の人口減少、税収減などを見据え、今後の公共施設等の最適な配置を実現するための「新宮市公共施設等総合管理計画」を策定したところであり、今回の基本計画におきましても整合性を図ることとしています。</p> <p>今後も引き続き、人口減少・少子高齢化、また厳しい財政状況が想定されることを十分に踏まえた市政運営を行いながら、本市の活性化に向けて取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。</p>

No.	提出された意見	市の考え方
3	<p>今後10年の間に、国際的なネットワークの利用や、またそれに伴うIT等情報化の利用は、大都市を經由せず、又空間的な距離をハンディとせず、グローバルとローカルをつなぐ展開手法として、地方都市の生き残り戦略の独自の取り組み方の大きな要素となってくると思われます。現在新宮市で、商工・観光・教育・秘書と各セクターに別れて取り組まれている海外・国際に関する活動を、数十年後の新宮のグローバル人材創出も含め、戦略的に一元化して費用対効果を最も効率的に大きくできるような一つの部署、或いは横断チーム室等を設置することを提案いたします。</p> <p>各セクターの一元化を計り、それぞれに市民セクターとの協同チームを組む事のできる計画の実施が肝要かと考えます。しかしそれにはまず足元を見直し、新宮市は既に利用できる貴重な財産を有していることを認識し、利活用することが重要です。新宮市とサンタクルーズ市には、45年の姉妹都市交流が有り、特に近年は従来の単なる姉妹都市間交流にとどまらず、経済分野やまちづくりの分野など広く様々な交流で形成されてきた海外とのネットワークという財産があります。また加えて、新宮市側ではここ十数年の間に市内及び近郊も含めいろいろな人材が参加し、協力をして築いてきたという人的なつながりが存在するという事実と、数百名にのぼる学生時代の相互訪問経験者がいるという財産が有ります。また対象となってきたサンタクルーズ市が全米でもコミュニティ存続の成功例として独自のロールモデルとなる市であるということも有利な条件となっています。</p> <p>既に新宮市が持っているこのような資源、また他の都市では持っていないこの強みを活かし、将来の世代に向けて、取り組む部署を一元化することにより多額な予算を必要としない、しかも費用対効果を最大限上げる取り組みを今から始めるべきかと思えます。</p> <p>「グローバル戦略的国際連携室」のような機能の設置へ</p> <p><機能の詳細></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 雇用・就業の促進----距離のハンディを逆手に取るITや情報に関わる起業家を英語圏とネットワークを持つことで差別化して育成 2. 観光交流の推進----インバウンド外国人訪問人口の獲得と仕掛けに関わる人材育成 3. 教育の充実----子供から高齢者まで年令に関係なく国際的な交流・体験・教育・留学でグローバル人材創出 4. “国際”に関する総合的な調整機能 	<p>目ざましいスピードで変革を続ける社会において、本市が生き残っていくための戦略について、貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>ご提案いただきました国際交流のみならず、地域間交流、観光交流人口獲得等、交流推進については重要な課題と認識しております。</p> <p>新たな課題に既存の組織が効率的に対応しきれない事態に陥ることも今後予想される中、限られた職員数を最大限活用していくには時代やニーズ、優先度を十分に考慮し、市の組織を変革し対応していくことが必要であることはご指摘と相通ずるものであり、市組織機構の見直しの参考とさせていただきます。</p>